

記載例 (令和3年以前に事業開始の方)

令和〇年〇月〇日

松前町長 岡本 靖 様

申請者 住所

松前町〇〇〇〇 〇〇

氏名

株式会社〇〇 代表取締役〇〇 〇〇

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

応援金額算定書

令和3年以前と記入

令和4年1月から同年10月までの  
いずれかの連続する2ヶ月を記入

1 事業開始年月と応援金の算定に用いる算定基礎期間

の欄に必要事項を記入してください。

事業開始年月	令和3年以前
算定基礎期間	1月・2月

※左記には事業を開始(法人は設立、個人は開業)した年月を記入してください。

※左記には算定に用いる令和4年1月から同年10月までのいずれかの連続する2ヶ月を記入してください。(令和4年10月に事業を開始した場合は、「10月」と記入してください。)

それぞれの種別の購入量を記入

算出額の算出

の欄に必要事項を記入してください。

原油燃料の全てが事業に供する場合は100%と記入し、そうでない場合は申告時に用いている事業に供する割合を記入

(1) 原油燃料の購入量の算出

算定基礎期間と同月を記入

原油燃料の種別	算定基礎期間に購入した原油燃料の量			原油燃料の事業に供する割合【b】	【a】×【b】
	1月	2月	合計【a】		
ガソリン	500.0 L	400.0 L	900.0 L	100 %	900.0 L
軽油	200.0 L	100.0 L	300.0 L	100 %	300.0 L
重油	L	L	0.0 L	%	0.0 L
灯油	L	L	0.0 L	%	0.0 L
			合計【c】		1,200.0 L

※原油燃料の事業に供する割合【b】は全てが事業に供する場合は100%と記入し、そうでない場合は申告時に用いている事業に供する割合を記入してください。

算定基礎期間分の購入量の総合計を記入

(2) 原油燃料に係る算出額

算定基礎期間に購入した原油燃料の量【c】L

×

基準単価 25円/L

=

算出額【A】

30,000 円

合計【c】×25

※小数点以下切捨て

(裏面に続く)

### 3 電気に係る額の

の欄に必要事項を記入してください。  
(1) 電気の使用量の算出

1で記入した算定基礎期間を記入

電気使用量の全てが事業に供する場合は100%と記入し、そうでない場合は申告時に用いている事業に供する割合を記入

それぞれの契約別の使用量を記入

	算定基礎期間に使用した電気の量			電気の事業に供する割合【e】	【d】×【e】
	1月	2月	合計【d】		
契約①	1,500 kWh	2,000 kWh	3,500 kWh	100%	3,500.0 kWh
契約②	3,000 kWh	2,000 kWh	5,000 kWh	100%	5,000.0 kWh
契約③	kWh	kWh	0 kWh	%	0.0 kWh
契約④	kWh	2ヶ月分のそれぞれの契約別の購入量の合計を記入		0 kWh	0.0 kWh
				合計【f】	8,500.0 kWh

※電気の事業に供する割合【e】は全てが事業に供する場合は100%と記入し、そうでない場合は申告時に用いている事業に供する割合を記入してください。

算定期間分の使用量の総合計を記入

### (2) 電気に係る算出額

$$\text{算定基礎期間に使用した電気の量【f】kWh} \times \text{基準単価 2.5円/kWh} =$$

算出額【B】	21,250 円
--------	----------

$$\text{合計【f】} \times 2.5$$

※小数点以下切捨て

### 4 応援金額の算定

の欄に必要事項を記入してください。

算出額【A】と算出額【B】の合計を記入

### (1) 原油燃料に係る算出額及び電気に係る算出額の合計

$$\text{原油燃料に係る算出額【A】} + \text{電気に係る算出額【B】} =$$

10月と記入

算出額の合計【g】	51,250 円
-----------	----------

### (2) 令和4年1月から同年10月までの間の事業操業月数

事業操業月数【n】	10 月
-----------	------

$$\text{算出額の合計【g】} \times 5 \times \frac{2}{3}$$

### (3) 算定上の応援金額

$$\text{【g】} \times \frac{\text{【n】}}{2} \times \frac{2}{3} =$$

算定上の応援金額【h】	170,000 円
-------------	-----------

※1,000円未満切捨て

### (4) 応援金の上限額

応援金の上限額【i】	400,000 円
------------	-----------

(3)で算出した金額と400,000円の少ない方の金額を記入

### (5) 応援金給付申請額

応援金給付申請額【h】又は【i】の少ない方の額	170,000 円
-------------------------	-----------